

# 「国語」・「算数」の力と学習の様子

～『R6全国学力・学習状況調査』結果から～

今年度は、国語、算数の調査が行われました。どの教科にも、

学校での授業の工夫や家庭での学習の効果が表れています。

◎：良いところ ▲：伸ばしたいところ

## ★国語について★



### 学習指導要領の内容

**知識及び技能** 「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」  
**思考力、判断力、表現力等** 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」

#### ① 『学習指導要領の6つの内容における結果から』

「読むこと」の領域で、力が付いてきています。

#### ② 『特に正答率が高かった問題』

◎人物像を具体的に想像することができるかどうかを確認する問題や、人物像の物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかを確認する問題が、よくできていました。〔読むこと〕

◎話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができるかどうかを確認する問題が、よくできていました。話し言葉と書き言葉との使い分けが身に付いてきています。〔言語の特徴や使い方に関する事項〕

#### ③ 『課題として』

▲資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように、表現を工夫することができるかどうかを確認する問題で、課題がみられました。調べたことを発表したり、自分の考えを相手に伝えたりする活動で、相手や目的を意識しながら、自分の考えが伝わるように表現を工夫する指導をしていきます。〔話すこと・聞くこと〕

▲目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書く等、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかを確認する問題で、課題がみられました。書くことにおいて、自分の考えを伝えるために、目的や意図に応じて伝えたいことを明確にするとともに、書き表し方を工夫するよう指導をしていきます。〔書くこと〕

## ★算数について★



**学習指導要領の領域** 「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」

#### ① 『学習指導要領の領域における結果から』

「数と計算」「データの活用」の領域で、力が付いてきています。

## ②『特に正答率が高かった問題』

◎除数が小数である場合の除法の計算をすることができるかどうかを確認する問題が、よくできていました。[数と計算]

◎円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができるかどうかを確認する問題が、よくできていました。グラフや表を基にした読み取りの学習の成果が表れています。[データの活用]

## ③『課題として』

▲球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる問題に誤答が多くみられました。身の回りの形から授業で扱っている図形を捉え、その図形を構成する要素を見出し、それらを活用して問題を解決する活動を充実させていきます。[図形]

▲速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できるかどうかを確認する問題に課題がみられました。道のりと時間と速さの関係を図や式などを用いて考えたり自分の考えを説明し合ったりするなどの活動を充実させ、二つの数量の関係に着目し、その関係を用いることや場面に応じた速さの比べ方を考察することができるよう授業を進めていきます。[変化と関係]

# ★学習や生活について★

◇よい傾向 ◆心配な傾向

## 《家庭や地域に関すること》

◇多くの児童が、地域や社会をよくするために何かをしてみたいと考えています。

◇多くの児童が、毎日同じくらいの時刻に就寝、起床をし、毎日朝食を食べています。

◆平日に、SNS や動画視聴などを2時間以上している児童が3割以上、ゲームを2時間以上している児童が5割以上います。

## 《学校に関すること》

◇多くの児童が、学校に行くのが楽しいと感じ、友達関係に満足しています。

◇多くの児童が、先生はよいところを認めてくれていると思っています。

◆分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することが苦手な児童がややいるようです。

## 《自分自身に関すること》

◇多くの児童が、「将来の夢や目標を持っている」「自分には、よいところがある」と答えています。

◇すべての児童が、「いじめは、絶対にいけない」と考えています。

◇ほとんどの児童が、「人が困っているときは、進んで助けている」「人の役に立つ人間になりたい」と考えています。

◆困りごとがあるときに、先生や学校にいる大人に相談することをためらう児童が、ややいるようです。担任だけでなく、養護教諭や他の先生にも気軽に相談できる体制づくりを行っていきます。

◆健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てることができていない児童がややいるようです。保健だより等を活用していただき、ご家庭でも健康に過ごすために大切なこととお子さんと一緒に考えるようにしてください。

## 《学力面との関係で分析すると》

◇新聞を読む習慣がある児童は正答率が高い傾向にあります。

◆SNS 等の利用時間が長いほど正答率が低い傾向にあります。

今一度、SNS やゲーム、動画などの利用時間のルールをご家庭で話し合うようにしてください。

